

ひょうご

# 職親会だより

2002.1 第10号

1 平成13年度職親・社会復帰研修会報告	P1
地域交流会   N加古川	
地域のみ～んな集まりました。	
(利用者・職親・家族・作業所・社会復帰関係者・労働関係者…etc)	P2～3
2 労働サイドの就労支援対策の状況は…	P4
3 現場から 福崎健康福祉事務所	P5
4 伝言板 ～職親会のパネル作成～	P6

## 目次

### 職親・社会復帰研修会

#### 主なプログラム

##### ●講話

「もっと知って…通院患者リハビリテーション事業を!!」 **コーヒータイム**

##### ●みんなからのご意見

- 「通院患者リハビリテーション事業を体験して…」 …… 訓練生より
- …………… 協力事業所より
- 「家族から考える…通院患者リハビリテーション事業」 …… 家族より
- 「精神障害者を取り巻く施策（雇用・リハビリ等）の現状」
- …………… 兵庫障害者職業センター・加古川公共職業安定所より

##### ●懇親タイム

### ●●●軽食囲んで交流●●●

主役は、利用者ご本人。

今年はいつもの研修会と趣向を変えて、加古川地域で職親会と健康福祉事務所、精神保健福祉センターが協力し合って通りハを取り巻く様々な人々で交流を図ることにしました。いろいろな方々の生の声に耳を傾けてください。

参加者は、作業所通所者・グループホーム入所者・通りハ訓練生・家族会・ボランティア・協力事業所・市町担当者等いろいろな人が集まって総勢32人。





## 協力事業所から

平成7年の終わりから、3人の訓練生と関わって感じることもある。「皆さんが几帳面で真面目」であると言うこと。今日のご本人の報告を聞き非常に感動した一方で、職親としての認識不足を強く感じた。訓練生は敏感なので、何気ない一言にも傷つきやすい。その事を職場の全員が理解し配慮することが大切。もう一人ぐらい受け入れたいと考えている。

## 家族から

子どもが週2日特養に訓練に行き2年目になる。「その程度のことで…」と思われるかもしれないが、「しんどい」と言って今でも休むことがある。世間では、怠け者と見られているかもしれない。でもしんどいのである。それが現実。本人は「続けて行きたいんだ」とずっと言っている。家族としても本人の気持ちを大切にしたい。本人・家族のことを周りに解って貰いたいから、本人の病気について隠していない。

## 利用者から

訓練していてもすぐに帰りたくなってしまう。自分でも「ダメだなア〜」と思うけど。社長が「おまえの、ここがええなア〜」って言ってくれて頑張り続けられる。いつまで続くか解らないけど頑張ってみようと思っている。

## 兵庫障害者職業センターから

現在センターでは、他機関との連携を元に“職業自立支援事業”に取り組んでいる。精神障害者の就労に必要なあらゆる側面からの援助プログラムとして位置づけている。兵庫県では初めての取り組みであり、現在5名で実施中。我々の取り組みと通りハをどう位置づけるのか、を今後考える必要がある。  
(職業自立支援事業は4ページ参照)

## 加古川公共職業安定所から

兵庫県内の障害者雇用率は平成12年6月1日現在で、1.69%で前年比より微増。雇用状況は大企業より中小企業の雇用率が高いのは全国状況と同傾向にある。しかし、ご存じの通り精神障害者は雇用率にカウントされていない現状にある。管内で把握している就労中の精神障害者は1名。県内3カ所の職安でジョブガイダンス事業を実施中。又障害者を雇用した事業所に対して一定期間助成金を支給する制度等があり対象事業所は問い合わせ欲しい。  
(ジョブガイダンス事業は4ページ参照)

## 市町担当者から

精神障害者の福祉サービス等の相談、斡旋等の業務を平成14年度から市町で行うことになりました。知的・身体障害者と同様頑張る取り組みでいきたいと考えています。すぐにサービスが整うわけではないが、一つ一つやってゆきたいと考えています。

## ボランティアから

作業所に参加しているが、ついつい手を出しすぎてしまう。「いかん、いかん」と思い留まる。一人でも多くの人に精神障害者の置かれている現状を伝えたくてボランティア活動を続けている。みんな仲間だと思っている。

## 利用者の意見 (抜粋)

### 通りハ制度とは？

利用して損はない制度です。例えば3ヶ月でも、己むを得ない理由でやめても…長い人生のいい勉強だと思っている。  
障害者の病状の回復過程、障害者としての人生のステップアップの一環です。  
通りハ制度を利用する際には、自分に合った仕事内容をはっきり自覚してから利用する。  
…事上の悩みが生じたとき、一人で悩まず、治医以外にも誰か、相談できるいろんな人や友人を作っておく。  
保健婦とか、通りハ制度を利用している先輩・後輩と意見交換して、自分は障害者の社会復帰のどの段階のどの位置にいるのかを自覚して、次の目標設定すること。  
今までと違う技術を習得する勇氣と体調がそれについてゆけるのか本人の決断しだい。しかしその判断をする前にいろんな人の意見を良く聞いて自分の本心はどの方向に向かっているのかじっくり見極めてからでも遅くない。  
私からの希望  
● 通りハの途中で挫折して、家に引きこもったりしたら、デイケア活動に参加したり、作業所に行くなりして休養期間として過ごさせて欲しい。そしてじっくり、再チャレンジを試みたい。  
● どうか、傷ついた障害者を暖かくフォローするようにして下さい。そして病状が軽くなったらサポート役に徹して下さい。  
● だんだんと障害者はたくましくなってきた、自分の居場所をみつけます。自尊心を保ち、自信がたつように誘導して欲しい。  
…精神病の緩解状態にあっても、自分自身、職場で発作的に大声で叫んだりするような事や、倒れてしまったりと不安が膨らむ時があります。自分自身の葛藤を生じることもありがちです。でも将来その職場や地区でなくてはならない存在になりたいものです。…

訓練生・F

## 作業所から

日々の作業所活動を通じて、安定した人がいけば通りハに行きたくて欲しい…と考えている。これまで2人ほど通りハに行ってくれた。少しずついいからステップアップして貰いたいと願っている。通りハだけでなく、どうすればみんなが就労できるのか？例えば食べ物屋とか、いろいろ考えている。





# 労働サイドにおける就労支援対策の現状

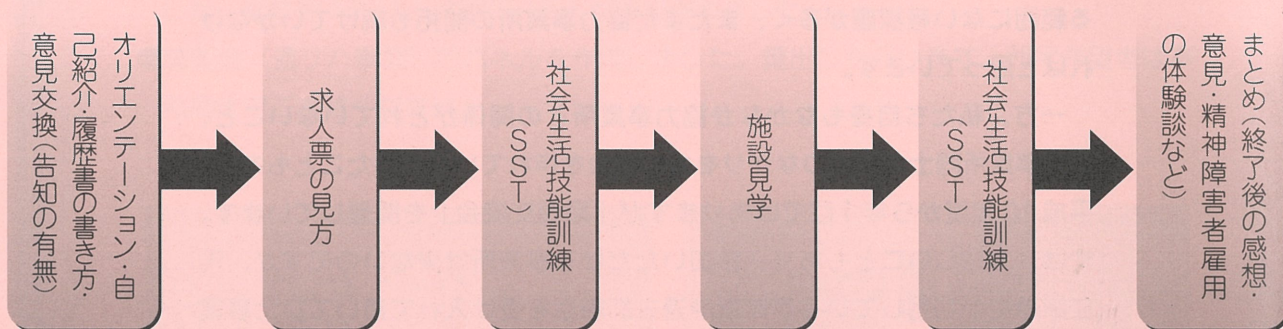
## 1 公共職業安定所のジョブガイダンス事業の場合

事業名／医療機関等と連携した精神障害者のジョブガイダンス事業  
 目的／公共職業安定所から「医療機関等」に赴き、就職意欲の高い精神障害者を対象に就職活動に関する知識や方法を実践的に示すためのジョブガイダンスを実施することにより、就職に関する現実的な意識や技術を高めると共に、就職に向けた取り組みが行えるように支援する。

実施機関／平成13年度は県内3地域において実施（神戸・姫路・尼崎地域）  
 なお、既に神戸・姫路の各公共職業安定所は実施済

内容／1クール6日間、毎日2時間（10:00～12:00）、実施各地域にコーディネーターを配置して実施。

その他／なお、平成14年度については開催回数及び開催地域については前向きに検討中

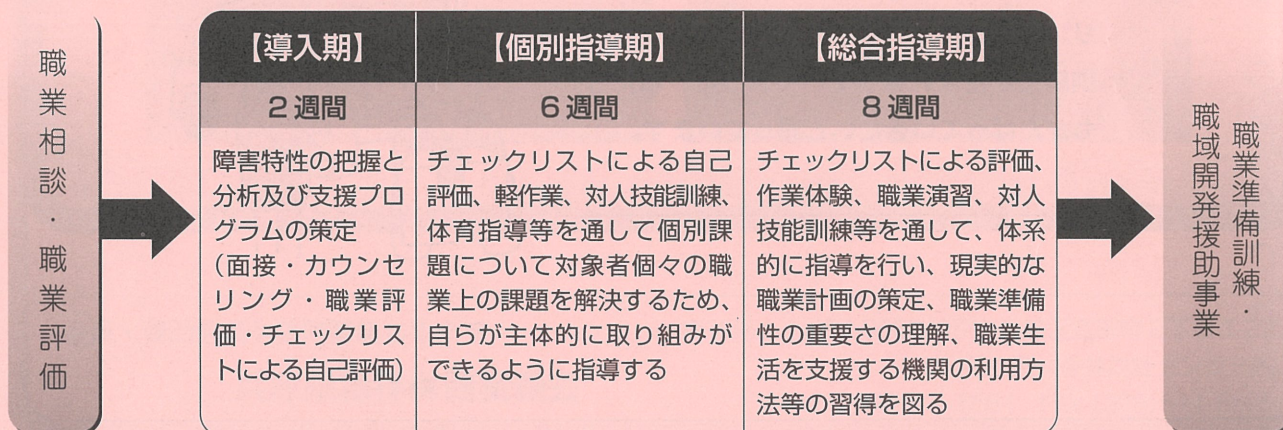


## 2 兵庫障害者職業センターの職業自立支援事業の場合

事業名／地域雇用支援ネットワークによる精神障害者職業自立支援事業  
 目的／精神障害者の社会復帰を支援している地域の医療、福祉及び必要な関係機関等により形成されたネットワークを活用し、職業自立に必要な指導・援助を行い、兵庫障害者職業センターで行う職業準備訓練等の職業リハビリテーションへの円滑な移行を目指す。

実施機関／兵庫障害者職業センター（神戸市西区曙町）

内容／1期16週間、1日4時間（10:00～15:00）、1期5名  
 対象者は関係機関からの推薦により決定





## 「通り八事業の現状から思うこと」

福崎健康福祉事務所

福崎健康福祉事務所は、平成7年度より通り八事業の拡大をめざし、協力事業所の開拓と事業内容の充実を力を入れ活動してきました。

協力事業所は現在14カ所ありますが、長期間継続して事業を利用できている訓練生が3名と少なく、利用を初めても3ヶ月以内という短期間で中断してしまう人が多いのが現状です。

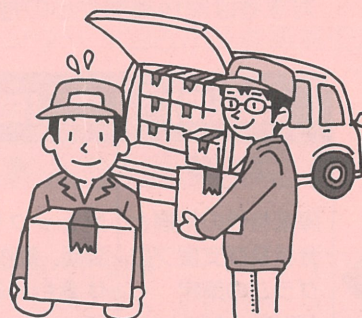
登録事業所は県下でも多い方ではありますが、対象者が行きたいと希望する職種の事業所が不況の影響もあり、受け入れが困難であったり、通える範囲にない等課題が多く、まだまだ協力事業所の開拓も続けていかなければと思っています。

一方、私たち自身もなかなか協力事業所との関係がとれていないこと、協力事業所同士の横のつながりをもつ機会を作れていなかったこともあり、平成10年度から年1回ではありますが「職親交流会」を開催しています。やはりお忙しいこともあり、参加いただける事業所は少ないのですが、現在訓練生が利用している事業所や過去訓練生を受け入れて頂いていた事業所の方々が積極的に参加下さっています。

職親交流会を始めてから、協力事業所の方が訓練生に注がれる愛情の深さや苦労されている点などいろいろな思いを聞き、職親さんが本当に身近な協力者として感じられるようになりました。また、「事業所へもっともっと足を運んで欲しい」など私たちへの期待の大きさも感じています。

通り八事業はまだまだ協力事業所の善意に頼っている部分が多く、課題の多い事業であると思います。しかし、精神障害者の就労訓練事業として果たす役割は大変大きく、今後も内容の充実を力を入れていく必要があると思います。

これからも協力事業所の方とともに悩んだり、模索したりしながら、一人でも多くの訓練生が生まれ育っていくように、私たちもがんばっていきたいと思っています。





# 伝言板

- 今回初めての試みとして、加古川において“利用者中心の地域交流会”を開催しました。通りハ事業を推進してゆくために「職親さんたちや関係者に集まってほしいなア～」と思っている健康福祉事務所・保健所の担当者もおられるのでは？職親会がお手伝いします。一緒に地域交流会を開催してみませんか？来年度は県下2～3カ所で開催できれば・・・と考えています。希望地域の方は事務局までご連絡下さい。
- さる、11月9～10日、「全国精神障害社会適応訓練事業研修会」が京都で開催されました。全国の職親さんが勢揃いする中で当職親会森本会長もパネラーとして出席。各地からの活動報告や要望が次々に報告され、最後は「京都宣言」として採択されました。総勢約150人 内県下15人が参加されました。
- 職親会（通りハ事業）のパネルを作成しました。貸出しも行います。利用希望者は事務局までご連絡ください。

しよく おや かい  
**職親会とは？**

**精神障害者を職場に受け入れ、  
 リハビリの場を提供している  
 会社・事業所の集まりです。**

主な活動として

- 精神障害者の就労支援（通院患者リハビリテーション事業）の実施と推進

...等50種類以上の事業所が県下200カ所以上あります。

- 精神障害者の就労支援に関する情報提供（たよりの作成）
- 会員相互の情報交換や社会復帰に関する研修会の開催
- 地域の交流会への協力
- 各種イベントへの参加

通院患者リハビリテーション事業とは、病状の安定している精神障害者に働く場を提供して頂き、現実の職場体験を通じて集中力・対人関係・仕事に対する持久力を養うための訓練を体験するものです。

会員・賛助会員を随時募集してます！

**兵庫県精神保健職親会**

事務局：〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-29

県立精神保健福祉センター内

Tel:(078)511-6581 Fax:(078)511-6585